

# 栃木県 環境基本計画

～環境の保全と利活用により、持続的な地域活性化につなげていく～  
「守り、育て、活かす、環境立県とちぎ」

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



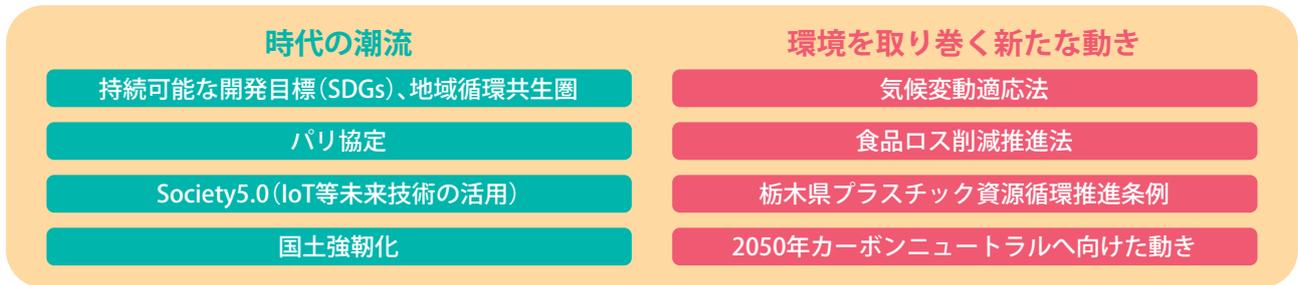
令和3(2021)年3月

栃木県

# 第1章 計画の基本的事項

## 1 計画策定の背景

以下の「時代の潮流」や「環境を取り巻く新たな動き」を踏まえ、長期的な視野に立つて本県の環境政策の方向性を提示するため策定



## 2 計画の位置づけ

- 県の環境保全に関する基本的かつ総合的な計画
- 各主体の環境保全の取組の指針となる計画

## 3 計画の期間

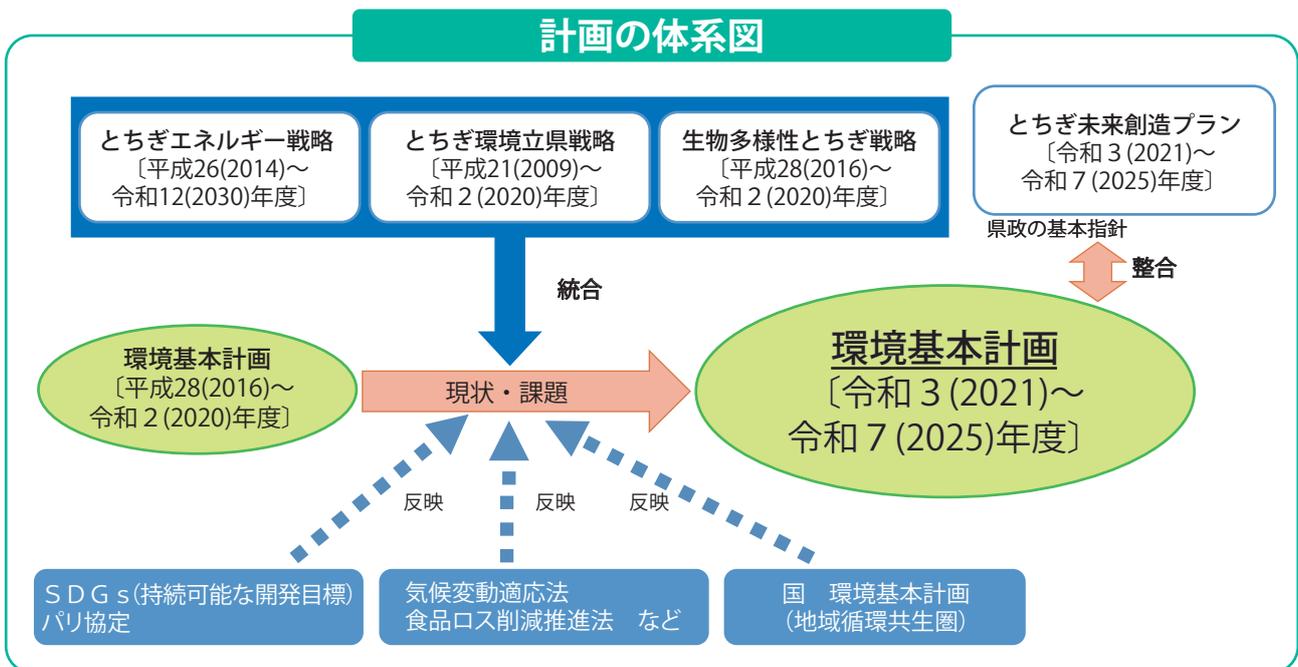
令和3(2021)～令和7(2025)年度の5カ年(おおむね10年後を展望)

## 4 計画策定の考え方

### ○ 環境の現状や社会情勢を踏まえた環境課題への適切な対応

■ 前計画の進捗状況や評価結果、本県の現状や社会情勢を踏まえ、本県の抱える環境の課題に適切に対応

■ 「とちぎエネルギー戦略〔H26(2014)-R12(2030)年度〕」、「とちぎ環境立県戦略〔H21(2009)-R2(2020)年度〕」、「生物多様性とちぎ戦略〔H28(2016)-R2(2020)年度〕」の3戦略を統合するとともに、とちぎ未来創造プランと整合



### ○ 環境・経済・社会の統合的向上

■ 複雑化・多様化している環境課題の解決のため、SDGsや「地域循環共生圏」の考え方を反映

■ 環境保全を経済的な制約ではなく、新たな成長要因と捉え、経済と環境の好循環を構築

# 第2章 計画の目標

- 1 将来像**〔令和12(2030)年度における本県のイメージ〕  
 ～環境の保全と活用により、持続的な地域活性化につなげていく～  
**「守り・育て・活かす、環境立県とちぎ」**

## 2 基本目標

### 共通施策

<p><b>① 脱炭素社会の構築と気候変動への適応を目指す「とちぎ」</b></p> <p>〈関連のSDGs〉</p>	<p><b>③ 良好な生活環境が保全された「とちぎ」</b></p>
<p><b>② 自立・分散型エネルギーで支えられる災害に強い「とちぎ」</b></p>	<p><b>④ 人と自然が共生する「とちぎ」</b></p>

# 第3章 施策の展開

基本目標	施策項目	具体的取組
脱炭素社会の構築と気候変動への適応を目指す「とちぎ」	1 温室効果ガスの排出削減	<input type="checkbox"/> 省エネルギー対策 <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーの導入拡大 <input type="checkbox"/> 県庁における率先的な取組の推進 <input type="checkbox"/> 森林吸収源対策の推進 <input type="checkbox"/> 地球温暖化対策の総合的な推進
	2 気候変動への適応	<input type="checkbox"/> 分野別取組の着実な実施 <input type="checkbox"/> 県気候変動適応センターを中核とした適応の推進 <input type="checkbox"/> 本県の強みを活かす適応策・適応ビジネス等の促進
自立・分散型エネルギーで支えられる災害に強い「とちぎ」	3 分散型エネルギーの自立化	<input type="checkbox"/> 工場・事業場のエネルギー自立化の促進 <input type="checkbox"/> 家庭のエネルギー自立化の促進 <input type="checkbox"/> 大規模発電所の立地促進
	4 エネルギー需給体制の強靱化	<input type="checkbox"/> 地域電源供給拠点の整備促進 <input type="checkbox"/> エネルギー需給ネットワークの構築
良好な生活環境が保全された「とちぎ」	5 大気環境の保全	<input type="checkbox"/> 常時監視による大気汚染対策の推進 <input type="checkbox"/> 有害大気汚染物質対策の推進 <input type="checkbox"/> 自動車排出ガス対策の推進 <input type="checkbox"/> 工場・事業場対策の推進
	6 水環境の保全	<input type="checkbox"/> 水循環の確保 <input type="checkbox"/> 公共用水域水質保全の推進 <input type="checkbox"/> 地下水の水質保全の推進 <input type="checkbox"/> 生活排水対策の推進 <input type="checkbox"/> 工場・事業場対策の推進
	7 土壌・地盤環境の保全	<input type="checkbox"/> 土壌汚染対策の推進 <input type="checkbox"/> 地盤沈下防止対策の推進
	8 騒音・振動・悪臭の防止	<input type="checkbox"/> 工場等騒音・振動対策の推進 <input type="checkbox"/> 交通騒音・振動対策の推進 <input type="checkbox"/> 生活騒音対策の推進 <input type="checkbox"/> 悪臭対策の推進
	9 資源循環の推進	<input type="checkbox"/> 廃棄物等の発生抑制・再使用の促進 <input type="checkbox"/> 廃棄物等のリサイクルの促進 <input type="checkbox"/> 廃棄物等の不適正な処理の防止 <input type="checkbox"/> 非常災害時における災害廃棄物等の処理体制の整備 <input type="checkbox"/> 資源循環に向けた処理体制の確保
人と自然が共生する「とちぎ」	10 地域の生態系の保全	<input type="checkbox"/> 生態系保全上、特に重要な地域の保全 <input type="checkbox"/> 奥山自然地域及び森林環境の保全 <input type="checkbox"/> 里地里山環境の保全 <input type="checkbox"/> 河川・湿地等水辺環境の保全 <input type="checkbox"/> 絶滅のおそれのある種の保全
	11 森林・みどりづくり活動の推進	<input type="checkbox"/> 森林の適正な管理と公益的機能の向上 <input type="checkbox"/> 緑化活動の推進
	12 自然の利活用・環境整備	<input type="checkbox"/> 豊かな自然の利活用 <input type="checkbox"/> 自然とふれあう環境の整備
	13 野生鳥獣の適正管理	<input type="checkbox"/> シカ・イノシシ等の捕獲の強化 <input type="checkbox"/> 効果的な被害防止の推進 <input type="checkbox"/> 鳥獣を寄せ付けない環境整備の推進 <input type="checkbox"/> 担い手の確保・育成と地域ぐるみの対策推進 <input type="checkbox"/> 科学的な鳥獣管理の推進
共通施策	14 外来種対策の推進	<input type="checkbox"/> 戦略的な対策実施 <input type="checkbox"/> 多様な主体との連携協力
	15 未来技術の導入促進	<input type="checkbox"/> 未来技術を活用した人材育成と生産性向上 <input type="checkbox"/> 未来技術を活用した二次交通の利便性向上と公共交通の促進
	16 持続可能な地域づくり	<input type="checkbox"/> 地域循環共生圏の構築 <input type="checkbox"/> 環境産業の振興と産業を支える環境技術の促進 <input type="checkbox"/> 企業価値を高める環境経営の促進 <input type="checkbox"/> 環境教育・学習の充実 <input type="checkbox"/> 環境保全活動を担う人材の育成と県民の活動の機会の提供 <input type="checkbox"/> 環境情報の整備・提供の充実 <input type="checkbox"/> 推進体制の整備
	17 安全・安心な地域づくり	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の推進 <input type="checkbox"/> 土地利用面からの環境配慮 <input type="checkbox"/> 化学物質対策の推進 <input type="checkbox"/> 放射性物質に係る取組の推進 <input type="checkbox"/> 環境保全に資する調査及び研究の実施 <input type="checkbox"/> 公害紛争処理等
	18 景観形成による魅力ある地域づくり	<input type="checkbox"/> 景観形成の総合的推進 <input type="checkbox"/> 良好な都市景観の保全と創造 <input type="checkbox"/> 歴史的・文化的景観の保全

## 基本目標 1

# 脱炭素社会の構築と

# 気候変動への適応を目指す「とちぎ」



経済と環境の好循環によるグリーン社会の実現を目指すとともに、県民の生命・財産を将来にわたって守っていくため、温室効果ガスの排出削減等対策（緩和策）と気候変動影響による被害の回避・軽減対策（適応策）についても着実に推進していきます。

### 施策項目 1 温室効果ガスの排出削減



- 省エネルギー対策
- 再生可能エネルギーの導入拡大
- 県庁における率先的な取組の推進
- 森林吸収源対策の推進
- 地球温暖化対策の総合的な推進

### 施策項目 2 気候変動への適応



- 分野別取組の着実な実施
- 県気候変動適応センターを中核とした適応の推進
- 本県の強みを活かす適応策・適応ビジネス等の促進

#### 【指標】

No.	項目	現状値 R 1 (2019)	目標値 R 7 (2025)
1	温室効果ガス排出削減率【%】(2013年度比)	4.8 (2017)	18.0
2	エネルギー消費削減率【%】(2013年度比)	0 (2017)	12.0
3	再エネ電力自給率【%】	21.2	26.0

No.	項目	現状値 R 1 (2019)	目標値 R 7 (2025)
4	次世代自動車新車購入率【%】	32.6	50.0
5	再生可能エネルギー設備導入容量【万kW】	262	330
6	県内民有林の間伐面積【ha】	3,254	3,500

## 基本目標 2

# 自立・分散型エネルギーで支えられる

# 災害に強い「とちぎ」



とちぎエネルギー戦略を統合し、本基本目標として位置付けます。分散型エネルギー施設の立地促進などに引き続き取り組むとともに、地域新電力の導入支援、地域電源供給拠点整備等の新たな施策の方向性を示していきます。

### 施策項目 3 分散型エネルギーの自立化



- 工場・事業場のエネルギー自立化の促進
- 家庭のエネルギー自立化の促進
- 大規模発電所の立地促進

### 施策項目 4 エネルギー需給体制の強靱化



- 地域電源供給拠点の整備促進
- エネルギー需給ネットワークの構築

#### 【指標】

No.	項目	現状値 R 1 (2019)	目標値 R 7 (2025)
7	電力自給率【%】	40.3	85.0
8	地域電源供給拠点数【箇所】*	0	50

\*太陽光発電設備など自立電源を有し、災害による停電時に避難所等に電気を供給することができる施設

## 基本目標3 良好な生活環境が保全された「とちぎ」



大気環境・水環境などについては、人の健康等を維持するためだけではなく、より良好な生活環境の保全を目指して取り組みます。また、資源循環に関しては、今後は生産段階や使用段階などライフサイクル全体での取組を促進し、モノが資源として循環する仕組みの構築を目指していきます。

### 施策項目5 大気環境の保全



- 常時監視による大気汚染対策の推進
- 有害大気汚染物質対策の推進
- 自動車排出ガス対策の推進
- 工場・事業場対策の推進

### 施策項目6 水環境の保全



- 水循環の確保
- 公共用水域水質保全の推進
- 地下水の水質保全の推進
- 生活排水対策の推進
- 工場・事業場対策の推進

### 施策項目7 土壌・地盤環境の保全



- 土壌汚染対策の推進
- 地盤沈下防止対策の推進

### 施策項目8 騒音・振動・悪臭の防止



- 工場等騒音・振動対策の推進
- 交通騒音・振動対策の推進
- 生活騒音対策の推進
- 悪臭対策の推進

### 施策項目9 資源循環の推進



- 廃棄物等の発生抑制・再使用の促進
- 廃棄物等のリサイクルの促進
- 廃棄物等の不適正な処理の防止
- 非常災害時における災害廃棄物等の処理体制の整備
- 資源循環に向けた処理体制の確保

#### 【指標】

No.	項目	現状値 R 1 (2019)	目標値 R 7 (2025)
9	大気環境基準 (NO <sub>2</sub> ) 達成率【%】	100	100
10	公共用水域の環境基準 (BOD) 達成率【%】	96.9	100
11	生活排水処理人口普及率【%】	87.7	93.0

No.	項目	現状値 R 1 (2019)	目標値 R 7 (2025)	
12	県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量【g】	672 (2018)	650	
13	県内で排出された廃棄物の最終処分量【千t】	一廃	57 (2018)	53
		産廃	87 (2018)	84

## 基本目標4 人と自然が共生する「とちぎ」



県内の豊かな自然環境を保全するとともに、人と自然が共生する潤いある地域づくりを進め、さらに、生物多様性の保全に向け、県民をはじめとする様々な主体と協働して、地域からの取組の更なる推進を図ります。

### 施策項目10 地域の生態系の保全



- 生態系保全上、特に重要な地域の保全
- 奥山自然地域及び森林環境の保全
- 里地里山環境の保全
- 河川・湿地等水辺環境の保全
- 絶滅のおそれのある種の保全

### 施策項目11 森林・みどりづくり活動の推進



- 森林の適正な管理と公益的機能の向上
- 緑化活動の推進

### 施策項目12 自然の利活用・環境整備



- 豊かな自然の利活用
- 自然とふれあう環境の整備

### 施策項目13 野生鳥獣の適正管理



- シカ・イノシシ等の捕獲の強化
- 効果的な被害防止の推進
- 鳥獣を寄せ付けない環境整備の推進
- 担い手の確保・育成と地域ぐるみの対策推進
- 科学的な鳥獣管理の推進

### 施策項目14 外来種対策の推進



- 戦略的な対策実施
- 多様な主体との連携協力

#### 【指標】

No.	項目	現状値 R 1 (2019)	目標値 R 7 (2025)
14	造林面積【ha/年】	408	700
15	自然公園入込数【千人】	22,795	25,000

No.	項目	現状値 R 1 (2019)	目標値 R 7 (2025)
16	野生獣による林業被害額【億円】	1.35	1.10

# 共通施策



近年の経済問題や社会問題などと相互に密接に関連・複雑化している環境問題に対して、安全・安心な魅力ある地域を形成し、人の流入を促して環境産業の活性化を図り、さらに県民一人一人の環境意識の向上を促すことで、持続可能な地域づくりを目指します。また、こうした地域づくりにおいては、未来技術の導入などを積極的に促進していきます。

## 施策項目15 未来技術の導入促進



- 未来技術を活用した人材育成と生産性向上
- 未来技術を活用した二次交通の利便性向上と公共交通の促進

## 施策項目16 持続可能な地域づくり



- 地域循環共生圏の構築
- 企業価値を高める環境経営の促進
- 環境保全活動を担う人材の育成と県民の活動の機会の提供
- 推進体制の整備
- 環境産業の振興と産業を支える環境技術の促進
- 環境教育・学習の充実
- 環境情報の整備・提供の充実

## 施策項目17 安全・安心な地域づくり



- 環境影響評価の推進
- 化学物質対策の推進
- 環境保全に資する調査及び研究の実施
- 土地利用面からの環境配慮
- 放射性物質に係る取組の推進
- 公害紛争処理等

## 施策項目18 景観形成による魅力ある地域づくり



- 景観形成の総合的推進
- 歴史的・文化的景観の保全
- 良好な都市景観の保全と創造

# 第4章 重点プロジェクト

### 1. 2050年カーボンニュートラル実現プロジェクト

「(仮称) 2050年カーボンニュートラル実現ロードマップ」を策定し、経済と環境の好循環によるグリーン社会の実現を目指す

指標：温室効果ガス排出削減率  
再エネ電力自給率

### 2. 自立・分散型エネルギー導入プロジェクト

再生可能エネルギー等の地産地消化を図り、「とちぎエネルギー戦略」に掲げる災害に強い地域づくりを目指す

指標：電力自給率

### 3. 資源循環推進プロジェクト

食品ロス削減やプラスチックごみ対策による資源の好循環を目指す

指標：県民1人1日当たりの生活系  
一般廃棄物の排出量

### 4. 自然共生社会構築プロジェクト

野生鳥獣の適正な管理等により、「生物多様性とちぎ戦略」に掲げる豊かな自然との共生を目指す

指標：野生獣による林業被害額

## 推進方針

### ○ 計画の普及啓発

■普及啓発資料の作成・配布、広報誌、インターネット等の多様な広報媒体の活用による計画の浸透

### ○ 財政的措置

■計画に盛り込まれた各種施策を着実に推進するため、必要な財政的措置の適切な実施

### ○ 進行管理

■年度をひとつのサイクルとして進行管理 環境目標等の達成状況を報告書に取りまとめて広く県民に公表